

ホタテウロを原料とした魚類摂餌促進物質の開発

Development of Feeding Stimulants for Fish Derived from Scallop Mid-gut Gland

環境エネルギー部 若杉 郷臣・富田 恵一・明本 靖広・鎌田 樹志

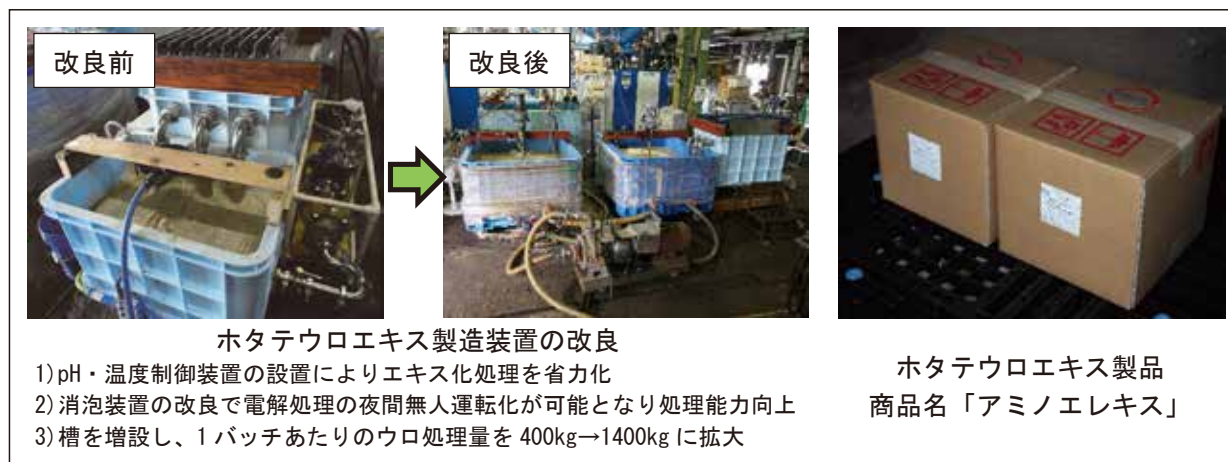
■研究の背景

北海道ではホタテガイの生産が非常に盛んで、令和元年の生産量は384,000トン、生産額も729億円と北海道の水産業全体の1/3を占める北海道の代表的な水産業ですが、加工に伴う副産物として、中腸腺（以下ホタテウロ）を主とした内臓物が毎年3万トン程度発生しています。ホタテウロには有害重金属のカドミウムが高濃度で含まれているため、安全性が懸念されています。道総研では電解処理によりホタテウロからカドミウムを除去し、魚類摂餌促進物質（ホタテウロエキス）を製造する技術開発を行っており、ホタテウロエキスは魚類に対して摂餌促進効果や成長促進効果があることを確認しています。

本研究では、ホタテウロエキス製造装置の改良を進め、民間企業と共同で製造実証試験を行い、製造工程や処理コストなどについて検討しました。

■研究の要点

1. コスト低減化のための処理工程の省力化や安定化、製造量増加の検討
2. ホタテウロエキス製品の商品化



■研究の成果

1. 道内企業とウロエキスの製造実証試験を実施し、エキス化処理の省力化や電解処理の安定化および処理量の増加など、製造工程や装置の改良により、エキス製造量を増加させることが可能となりました。
2. 現在、道内企業から商品名「アミノエレキス」としてホタテウロエキス製品が販売されています。また、国内飼料製造会社から「アミノエレキス」を配合した完全養殖マグロ仔稚魚用配合飼料が発売開始されたとともに、特許を共同出願しました。

(株)カタクラフーズ 稚内市はまなす4丁目9番12号 Tel. 0162-26-2131
道総研 栽培水産試験場 さけます・内水面水産試験場 釧路水産試験場
網走水産試験場 環境科学研究センター

※本研究で使用した純水・超純水製造システム、ICP質量分析装置は、JKA補助事業により整備されました。